

2024 年 6 月 23 日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒179 番（旧 218 番）（KH 姉）

『神の備えにし』

聖書⇒イザヤ書 35 章（MM 姉 交読）

『荒れ野よ、荒れ地よ、喜び躍れ／

砂漠よ、喜び、花を咲かせよ／

野ばらの花を一面に咲かせよ。

花を咲かせ／

大いに喜んで、声をあげよ。

砂漠はレバノンの栄光を与えられ／

カルメルとシャロンの輝きに飾られる。

人々は主の栄光と我らの神の輝きを見る。

弱った手に力を込め／

よろめく膝を強くせよ。

心おののく人々に言え。

「雄々しくあれ、恐れるな。

見よ、あなたたちの神を。

敵を打ち、悪に報いる神が来られる。

神は来て、あなたたちを救われる。」

そのとき、見えない人の目が開き／

聞こえない人の耳が開く。

そのとき／

歩けなかった人が鹿のように躍り上がる。

口の利けなかった人が喜び歌う。

荒れ野に水が湧きいで／

荒れ地に川が流れる。

熱した砂地は湖となり／

乾いた地は水の湧くところとなる。

山犬がうずくまるところは／

葦やパピルスの茂るところとなる。

そこに大路が敷かれる。

その道は聖なる道と呼ばれ／

汚れた者がその道を通ることはない。

主御自身がその民に先立って歩まれ／

愚か者がそこに迷い入ることはない。

そこに、獅子はおらず／

獣が上って来て襲いかかることもない。

解き放たれた人々がそこを進み

主に贖われた人々は帰って来る。

とこしえの喜びを先頭に立てて／

喜び歌いつつシオンに帰り着く。

喜びと楽しみが彼らを迎え／

嘆きと悲しみは逃げ去る。」

礼拝讃美歌⇒209 番（旧 300 番）

『いつかは知らねど』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 5 編 16~17、18c~20 節（ES 姉）

『時をよく用いなさい。今は悪い時代なのです。だから、無分別な者とならず、主の御心が何であるかを悟りなさい。』

霊に満たされ、詩編と賛歌と霊的な歌によって語り合い、主に向かって心からほめ歌いなさい。そして、いつも、あらゆることについて、わたしたちの主イエス・キリストの名により、父である神に感謝しなさい。』

（祈）

礼拝讃美歌⇒490 番（旧 276 番）（KH 兄）

『尊きかなわれさえ』

《パン裂き》

聖書⇒出エジプト記 26 章 33 節 (KH 兄)

『その垂れ幕は留め金の下に掛け、その垂れ幕の奥に掟の箱を置く。この垂れ幕はあなたたちに対して聖所と至聖所とを分けるものとなる。』

聖書⇒マルコによる福音書 15 章 36~38 節

『ある者が走り寄り、海綿に酸いぶどう酒を含ませて葦の棒に付け、「待て、エリヤが彼を降ろしに来るかどうか、見ていよう」と言いながら、イエスに飲ませようとした。しかし、イエスは大声を出して息を引き取られた。すると、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂けた。』

(式)

礼拝讃美歌⇒156 番 (旧 169 番)

『幕は裂けたれば』

《建徳》

聖書⇒マタイによる福音書 12 章 43~45 節 (KH 兄)

『「汚れた霊は、人から出て行くと、砂漠をうろつき、休む場所を探すが見つかからない。それで、『出て来たわが家に戻ろう』と言う。戻ってみると、空き家になっており、掃除をして、整えられていた。そこで、出かけて行き、自分よりも悪いほかの七つの霊と一緒に連れて来て、中に入り込んで、住み着く。そうすると、その人の後の状態は前よりも悪くなる。この悪い時代の者たちもそのようになろう。』

聖書⇒マタイによる福音書 12 章 28~29 節

『しかし、わたしが神の霊で悪霊を追い出しているのであれば、神の国はあなたたちのところに来ているのだ。また、まず強い人を縛り上げなければ、どうしてその家に押し入って、家財道具を奪い取ることができるだろうか。まず縛ってから、その家を略奪するものだ。』

聖書⇒ヨハネの黙示録 3 章 19~20 節

『わたしは愛する者を皆、叱ったり、鍛えたりする。だから、熱心に努めよ。悔い改めよ。見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。』

礼拝讃美歌⇒490 番（旧 276 番）（SK 兄）

『尊きかなわれさえ』

礼拝讃美歌⇒251 番（旧 249 番）（KH 兄）

『心の喜び』

《建徳要旨》